

# 一般国道218号(九州横断自動車道延岡線) 矢部清和道路に係る新規事業採択時評価

- ・現道の課題箇所を回避し、災害時の救援活動においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保
- ・第三次救急医療施設へのアクセス性向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援
- ・重要港湾への道路ネットワークの確保による、物流効率化により地域産業活動を支援

## 1. 事業概要

・起終点: 熊本県上益城郡山都町城平  
～熊本県上益城郡山都町大平

・延長等: 10.3km (第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)

・全体事業費:  
約740億円

・計画交通量:  
約11,400台/日

乗用車	約7,400台/日
小型貨物	約1,600台/日
普通貨物	約2,400台/日

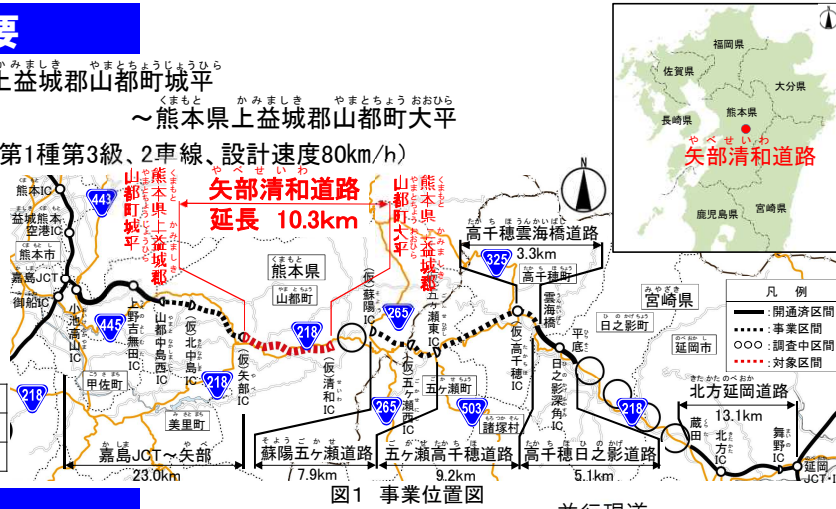


図1 事業位置図

## 2. 課題

### ①災害に対して脆弱な道路ネットワーク

- ・国道218号は、政府が定める「緊急輸送ルート」に指定されており南海トラフ地震発生時における宮崎県北部、大分県南部地域の想定被災者数約14万人を支援する重要な路線。
  - ・当該区間がある山都町は、河川の氾濫や土砂災害等の自然災害が県内で最も多く、土砂災害危険区域、浸水想定区域が集中し、被災リスクの高い脆弱な区間が存在。
- [図2、図3、写真1]

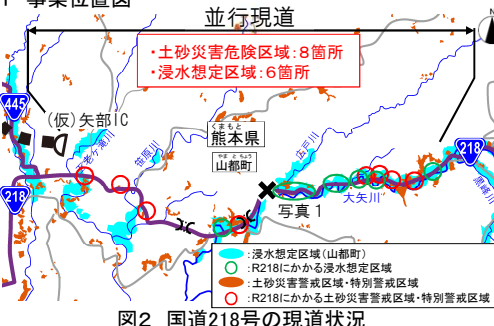


図2 国道218号の現道状況



図3 年平均自然災害件数 (H28-R2)

### ②第三次救急医療施設への低いアクセス性

- ・山都町の救急搬送は管外搬送が約7割を占め、熊本市内の第三次救急医療施設に搬送。
- ・熊本市内の第三次救急医療施設への搬送に60分以上を要する医療サービスの低い地域にあり、速達性が課題。

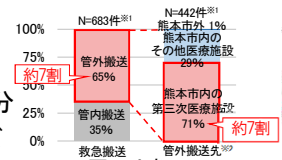


図4 山都町の救急搬送先内訳(R2)



図5 山都町から済生会熊本病院への所要時間

### ③物流効率化に不可欠な道路ネットワーク

- ・熊本県の木材生産額は全国5位、山都町は県内3位の林業素材生産量を誇る地域。[図6]
- ・原木は国道218号を利用して山都町から八代港へ輸送し、中国、韓国など海外へ輸出。
- ・輸送経路である国道218号は、道路線形の厳しい箇所が多く存在し、大型車の横転事故が発生するなど、輸送効率が低下しており、走行性に課題。[写真2、写真3]



写真2 原木輸送の状況



写真3 交通事故状況

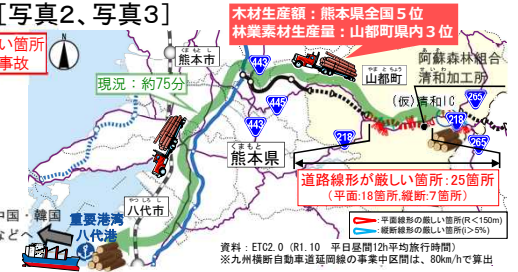


図6 八代港までの輸送ルートと輸送時間

## 3. 整備効果

### 効果1 信頼性の高い道路ネットワークの確保 [◎]

- ・現道の課題箇所を回避し、災害時の代替路機能が確保され、救援活動においても信頼性の高い道路ネットワークを確保。[図2]
- 国道218号における土砂災害危険区域の回避 【現況】8箇所 ⇒ 【整備後】0箇所
- 国道218号における浸水想定区域の回避 【現況】6箇所 ⇒ 【整備後】0箇所

### 効果2 救急医療活動の支援 [◎]

- ・山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援。[図5]
- 山都町役場清和支所～済生会熊本病院の搬送時間 【現況】60分 ⇒ 【整備後】47分 (約13分短縮)

### 効果3 物流効率化により地域産業を支援 [◎]

- ・並行する国道218号の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、円滑な輸送の実現による地域産業の振興を支援。[図6]
- 輸送経路である国道218号の線形が厳しい箇所 【現況】25箇所<平面:18箇所、縦断:7箇所 ⇒ 【整備後】0箇所
- 阿蘇森林組合 清和加工所～八代港の輸送時間 【現況】75分 ⇒ 【整備後】64分 (約11分短縮)

### ■費用便益分析結果 (貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR <sup>※1</sup>	総費用	総便益
1.3	5.6%	4,001億円	5,255億円
(1.1)	(4.5%)	(547億円)	(599億円)

注) 上段の値は高島JCT～延岡JCT・ICを対象として評価した場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象として個別評価とした場合の費用便益分析結果  
※1: EIRR: 経済的内部収益率 ※2: 基準年(R3年)における現在価値を記載 (現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

### ■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
25 (18)	0.50 [C]	0.19 [B]	▲284.3 (▲4.3)	0.17 (0.03)	0.39 (0.04)	◎

注) 上段の値は高島JCT～延岡JCT・ICを対象とした場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果

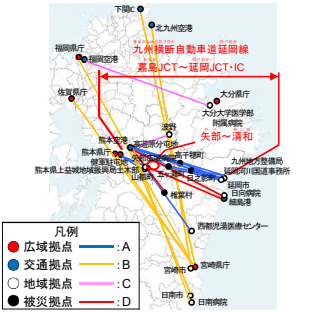
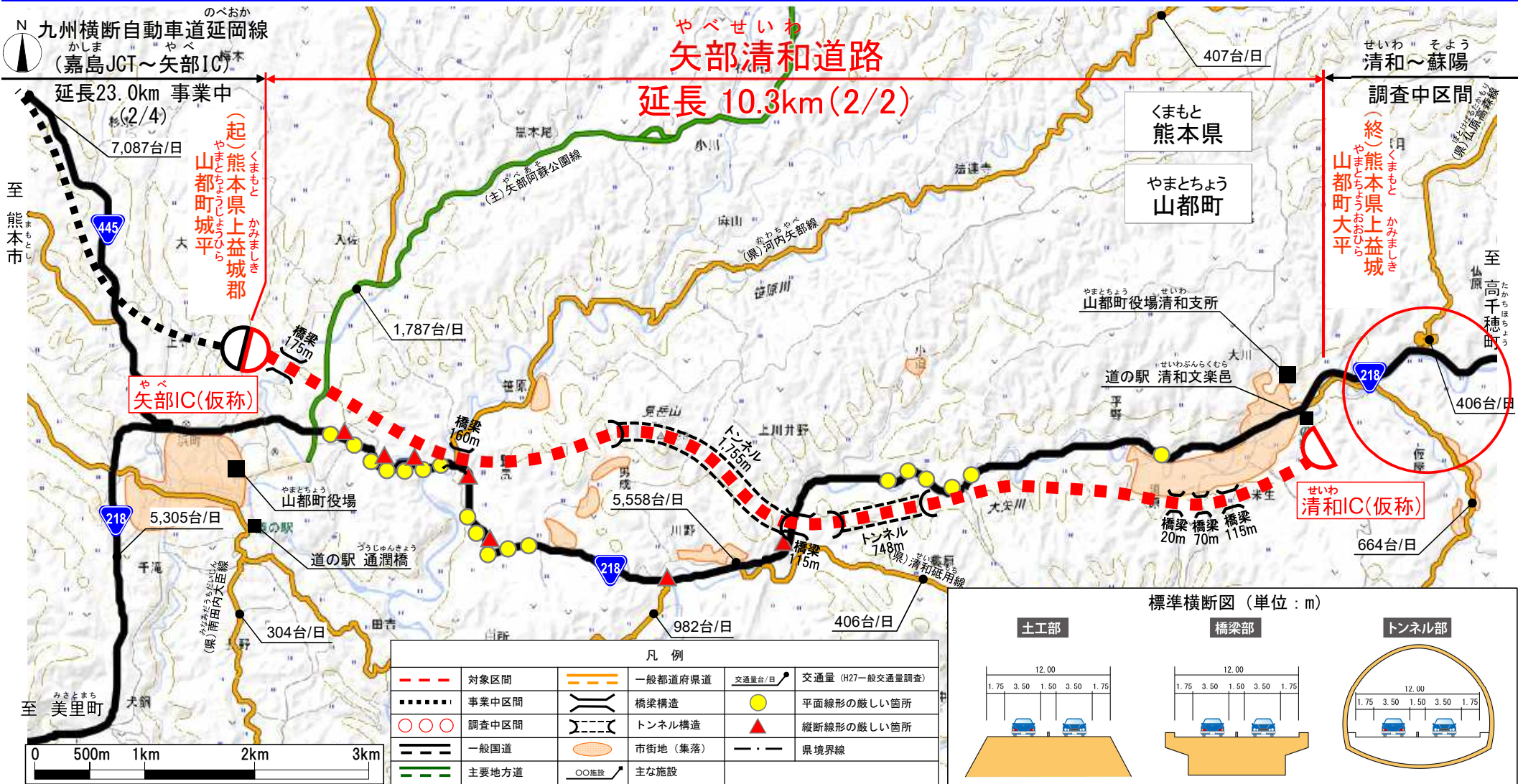


図7 道路ネットワークの防災機能評価結果



# 一般国道218号(九州横断自動車道延岡線) 矢部清和道路に係る新規事業採択時評価



凡例

	対象区間		一般都道府県道		交通量/日		交通量 (H27一般交通量調査)
	事業中区間		橋梁構造				平面線形の厳しい箇所
	調査中区間		トンネル構造				縦断線形の厳しい箇所
	一般国道		市街地(集落)				県境界線
	主要地方道		〇〇施設				主な施設

